

多文化の子どもの支援形態と岩手の課題

支援形態	課題	19年度対応計画
教員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・1校1、2名在籍の学校が多数を占める ・外国出身児童生徒に対する日本語等指導の知識、経験のある教員の確保 	
相談員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の母語を話す人材確保 ・子どもの状況、必要な支援についての知識、情報不足 	県国際交流協会と相談員リスト作成について協議
指導協力者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、経験のある人材確保 ・学校と協力者との協力体制構築 ・派遣経費の確保 	サポーターバンク立ち上げ
センター校の指定	<ul style="list-style-type: none"> ・広範な通学圏（通学手段の確保） ・外国出身児童生徒に対する日本語等指導の知識、経験のある教員の確保 	
就学・進路相談	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、指導体制の整備 ・知識、経験のある相談員の確保 ・学校の受け入れ態勢の確立 	他地域における進路ガイダンス、進路支援の調査
学外支援	<ul style="list-style-type: none"> ・人材 ・学校との連携 ・活動場所、教材等の確保 	サポーターバンク立ち上げ NGO活動との連携 学習支援合宿研修(盛岡・一関)
人材育成・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会の充実 ・学外支援人材の確保 	教員、支援者研修会の実施 (マニュアル活用研修)
情報交流	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交流の機会 ・情報センターの設置 	日本語学習支援ネットワーク会議(山形)の実施
教材整備	<ul style="list-style-type: none"> ・JSLカリキュラム等の教材の周知 ・子ども一人ひとりの状態や支援方法に合った教材開発 ・購入費の確保 	受け入れマニュアル作成 (自治体国際化協会助成事業・岩手大学地域連携推進事業) 教科書、教材購入(中島平和財団助成事業・岩手大学地域連携推進事業)

「いわて多文化子どもの学習サポーターバンク」(仮称)構想イメージ

